



春休みの過ごし方

待ちに待った春がやってきました。入園入学される子どもさんも、進級される子どもさんも、期待と不安にドキドキしていることでしょう。

春休みは、新しいステージに上っていく階段の踊り場のようなものではないでしょうか。スタートラインに立つ前の、**整理とリフレッシュ**の大切な時間を過ごしましょう。

1. 春は成長のとき

年度末、子どもが園や学校から持ち帰った絵や作品、作文などを、いっしょに見なおしてみませんか。

絵や作文は心の成長が形になって見えるものです。それらを大切にしておくことは、思い出にもなり、親が自分の作品を大切にしてくれていると伝わり、子どもはうれしいものです。でも、保管場所の問題などから、処分しなければならないこともあるでしょう。そんな時には処分する前に、何かささいなことでもいいから作品についてのコメントをしてあげてください。絵には「大きく描けたね」「きれいな色を使ったね」など、作文には「こんなできごとがあったんだ」「この時の気持ち、よくわかるよ」といったひとことでもいいのです。

おうちの方のちょっとした共感の言葉が、子どもたちの**成長の自覚**につながり、**自信**となることでしょう。

カメラで作品を撮っておくのもひとつの方法だね！



2. 不安に心がゆれている時は

「小学校にひとりで行けるかな」「クラス替えで仲良しの友達と離れてしまったらどうしよう」といった不安を口にすることもあるかもしれません。そんな時にすぐ「こうだよ、ああすればいいよ」とアドバイスする前に、まずその不安をすべて吐き出させてあげましょう。

気持ちを言葉にすることが、**自分の足で歩いていく力をつける**こととなります。大人の助言は、子どもが意見を求めてきた時で間に合いますよ。

まずは、子ども自身に自分の**心の整理整頓**ができるよう、見守ってあげましょう。



ちょっと聞かせて

少し先に子育てを経験した保護者の方に、どんな春休みを過ごしたか聞いてみました。良かったら参考にしてください♪

ワクワク感を高めよう

「〇年生になったらこんなことができるよ！」
といった楽しい話をいっぱいして、親子でワクワク感を高めました♪



物品の用意



お道具箱の道具や絵の具などの補充。
必要なものがないか子どもに分類させるようにし、勝手に親が手を出してしまわないよう気をつけました。

新学期、学校へ持っていく「ぞうきん」を手縫いで子どもと一緒に作りました。気持ちがあらたまるし、子どもとの会話のきっかけにもなりますよ。

新学期の目標を立てよう！

目標を達成するために何ができるか具体的に話し、1番最初の目標を実践しました。

- (例)・野球をがんばる→素振りを1日100回する。
- ・算数のテストの点数を上げる
- さぼりがちだった宿題を必ずする。

子ども部屋の整理、掃除

子どもと一緒に部屋の模様がえ。
昨年度の教科書やノートをまとめたり、机まわりの整理をすると、進級ムードが高まっていますよ。

遊ばなくなったおもちゃなどの整理をしました。



制服、上靴などのサイズチェック

いつの間にか小さくなっていてビックリすることが…

この機会にタンスの中の衣替えをしました。

家族で出かけよう！

進級前のほっとするひととき。家族で自然の中にでかけました。
おにぎりを持って、現地のおいしいものをいただき、温泉施設で一息つくのも楽しいものです。

あつみの梅林、黒滝（奈良県）、国城山、三石山など、橋本市は近隣の自然の中に出かけるのには、絶好のポジションですよ。

ちょっぴり顔つなぎ

入学前に違う地区から引っ越してきたので、春休みの間に近所の子どもに声をかけていっしょに遊ばせてもらい、お友達作りをしました。



お手伝いをお願いしよう！

子どもの年齢にあったお手伝いをお願いしました。いっしょに洗濯物を干したり、たたんだり。
時間にゆとりのある時にするのが、イライラしないコツかも？！